

橋詰壽人市長は、6月10日開会の第391回市議会定例会で各議案の提案説明に先立ち、「4月14日に発生した熊本地震は、気象庁の震度階級で最も大きい震度7を観測し、熊本県・大分県を中心に甚大な被害をもたらしました。熊本地震によりお亡くなりになりました方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。この熊本地震に関し、全国市長会を通じて被災市町村への職員の派遣依頼があり、本市からも派遣可能として派遣人員の登録を行っています。全国市長会から具体的な派遣要請があり次第、即座に職員派遣ができるよう準備を進めています。4月23日には、高知東部自動車道高知南国道路が高知龍馬空港インターチェンジまで延伸しました。本市では、観

光・経済面だけでなく津波発生時の地域住民の避難場所として活用できるほか、被災時における迅速な救援、復旧ルートとして機能する重要な施設です。四国8の字ネットワークの早期整備に向けて関係機関とともに取り組んでいきます。3月に策定した「第4次総合計画」については、本年度が計画の初年度となります。計画で決めました『安全・安心のまち』、『健康・福祉のまち』、『産業・交流のまち』、『教育・文化のまち』、『協働・連帯のまち』の5つの基本目標の達成を目指すとともに、市民と行政とのさらなる協働体制の推進を図り、将来像である『緑とまち 笑顔あふれる南国市』に向けて基本施策を展開していきます。』と述べた後、主要な課題について報告しました。（内容はあらしです）

財政状況

収納率や加入率の向上など適切な運営

平成27年度一般会計の形式収支は、7億3千147万9千円の黒字となります。形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除すると、実質収支は、4億7千459万3千円の赤字となります。このうち財政調整基金に2億4千万円の決算積立を行い、翌年度繰越金は2億3千459万3千円となります。

特別会計への繰出金の増大は、一般会計を圧迫することになりますので、特別会計においても収納率や加入率の向上、また受益者負担の適正化を図り、適切な運営に努めます。

認知症初期集中支援事業

県モデル事業から市の地域支援事業として開始

平成27年度に県のモデル事業として実施してきました認知症初期集中支援事業を4月から市の地域支援事業として正式に開始しました。専門医等3名のチーム員を委嘱し、認知症の方に対して初期のうちから適切な対応をしていく

ための支援を行います。

子育て支援

子育て世代包括支援センターの設置

4月より保健福祉センター内に「子育て世代包括支援センター」を設置しました。県の保健師を専任母子保健コーディネーターとして迎え、妊娠から子育て期までの切れ目のない総合的な支援を目指します。現在は地区担当保健師とともに、妊娠期における支援の見直しを行っています。

一般不妊治療費助成

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担軽減のために、一般不妊治療に要する本年4月以降分の費用の助成を7月より開始する予定で準備を進めています。

新生児聴覚検査を開始

5月生まれの新生児から全額公費負担による「新生児聴覚検査」を開始しました。子どもの聴覚障害を早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な措置が講じられるように、原則、出生後2日から4日の間に入院中の県内の産科

医療機関において実施されます。

子どもの「予防接種手帳」交付

子供の予防接種の開始に合わせ、その都度、予防票を発送していましたが、本年度から受けるべき全ての予防接種の予防票を一冊にまとめた「予防接種手帳」を交付します。これにより、保護者は接種の計画や接種済みの確認、予防票の管理などが一元的にできるようになります。

低所得の多子世帯・ひとり親世帯の保育料等の軽減

国の施策として、低所得の多子世帯、ひとり親世帯の保育料等の軽減を図るため、本年度より年収360万円未満の多子世帯の場合は、多子計算に係る第1子の年齢制限を撤廃し、第2子は半額、第3子以降は無料となりました。また、年収360万円未満のひとり親世帯の場合は、第1子を半額、第2子以降は無料となります。

農家レストラン

4月からは3グループで活動開始

地域の豊富な食材を活かし、生産者と消費者をつなぐ場づくりとしての農家レストラン・まほろば畑は、開業当初の目標であった営業期間の5年を盛況のまま達成し、本年4月からは装い新たに3グループでの活動となりました。引き続き関係機関の協力を得ながら支援体制の強化に努めます。

国営ほ場整備事業

地域整備方向検討調査から地区調査に移行

本市の現状と課題の把握や、今後の農業振興、ほ場整備を始めとする農業基盤の整備方向を検討する「地域整備方向検討調査」を踏まえ、本年度からは、国の採択を受け、より詳細な調査と計画策定を行う「地区調査」に移行しました。ほ場整備委員会組織がある地区数と受益面積は23地区、810ヘクタールです。今後は、整備や営農計画について話し合いながら事業計画書の作成を行います。

春のイベント

さくらまつり、長宗我部フェスなど

3月27日に「貫之さくらまつり」が、4月2日、3日には「岡豊山さくらまつり」が開催されました。「岡豊山さくらまつり」では不安定な天候にもかかわらず2日間で約8千人の来客がありました。同時開催の「土佐の食1グランプリ」では、なんこく空の駅推進協議会の「四方竹肉巻フライ」が2位に入賞し、本市の「食の魅力」を発信することができました。その他にも、道の駅での「ゴールデンウィーク ウェルカムサービス」、また2年ぶりとなる「第3回ごめん祭」などが開催されました。5月14日開催の「第7回長宗我部フェス」では、長宗我部甲冑隊と、大分市から参加の老友宗麟鉄砲隊の合同演舞が披露され、多くの来場者がその迫力に魅了されました。

中心市街地活性化

ごめんまち将来像プランを作成

平成28年3月に中心市街地活性化推進協議会において協

議し「ごめんまち将来像プラン」を作成しました。構想のコンセプトは、「ものづくりひとづくり まちづくり」であり、構想の実現に向けて取り組みを進めます。また、本年度は、市内外の関心度を高め、機運を盛り上げるために、商工会を中心に「メールでもごめんなさい事業」、

「中心市街地『街なか』海洋堂ミュージアム事業」を実施する予定で、連携して支援していきます。

(仮称)南国日章工業団地

本年度秋から用地買収予定

県と共同で取り組んでいる仮称南国日章工業団地の開発は、地元や地権者の方々と協議、調整を行っており、本年度秋からの用地買収を目指しています。

地籍調査事業

本年度、3地区で実施

本事業は平成28年3月末現在で約174平方キロメートルの調査を完了し、進捗率は約152パーセントとなっています。本年度は、黒滝地区、大堀八

篠原土地区画整理事業

仮換地計画案の縦覧を実施

3月2日から2週間の日程で仮換地計画案の縦覧を実施しました。縦覧の結果、権利者より仮換地計画案に対する意見書が5通提出され、今後、審議会から意見をいただいた上で意見書の審査や計画案の修正等を行い、本年度中に、仮換地に法的な効力を生じさせる手続きである仮換地指定を行う予定です。

臨時福祉給付金

対象者に申請書類を送付

平成27年度の臨時福祉給付金対象者のうち65歳以上を対象に3万円を支給する「年金生活者等支援臨時福祉給付金」については、約5千770人に申請書類を個別送付し、5月9日から申請受付を開始しています。市広報紙をはじめ、各媒体を通して周知に努めています。8月31日の申請期限まで、引き続き、周知を行っていきます。

救助訓練

交通事故発生や災害を想定した合同訓練

開通前の東部自動車道高知南国道路において、交通事故発生時の情報伝達、現地対応確認を目的に、国土交通省土佐国道事務所等、関係5機関と合同で、自動車道上にドクターヘリを着陸させて、救助訓練を実施しました。また、解体予定の高知県警機動隊官舎を利用して、県警機動隊及び南国市、香美市、香南市の各消防本部が合同で倒壊家屋からの人命救助及び救出訓練を実施しました。